

近畿大学次世代基盤技術研究所報告 Vol.14(2023) の発行にあたって



近畿大学次世代基盤技術研究所

所長 樹野 淳也

近畿大学次世代基盤技術研究所は、産官学連携事業の強化と本学広島キャンパス内における研究の活性化を図るために、前身の工業技術研究所から、平成 21 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択されたことを契機とし、平成 22 年 4 月に新たな組織として設立されました。

産官学連携事業につきましては、平成 14 年 10 月から工学部産学官連携推進協力会を発足させ、それ以後、工学部広島キャンパスにおける産官学連携活動の中核をなす部署として運営し、東広島市内の産業界はもとより、広島県内を含む近隣公設機関、さらには瀬戸内圏の各企業の皆様からの温かいご支援を賜り、着実に発展してきました。

研究の活性化につきましては、関係各位様に第 14 巻の報告書をお届けさせて戴きますのでご覧下さい。平成 13 年から発刊しました工業技術研究所報告の 9 巻を合わせますと、23 冊目の報告書となります。本報告書は、本研究所に設置しております 8 つのセンターの研究活動報告の概要をはじめ、研究員を含む各教員からの原著論文、他の学術雑誌等で公刊済の研究成果報告の再録論文、センター活動に関連した研究状況のレビューを収録しております。

近畿大学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成することにある」を教育の目的として掲げて参りました。2025 年に本法人の創立 100 周年を迎えるにあたり、近畿大学の行動指針を「常に革新的である」、「社会の役に立つ」、「期待され応援される」と新たに決めました。次世代基盤技術研究所においても、革新的な研究の実践だけでなく新しい発想を持つ技術者・研究者を育成することで地域・社会に貢献するとともに、期待・応援される存在になることを目指して参りますので、より一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

本報告書が最新の産官学連携による技術情報の提供に役立つ資料となり、地域産業界に携われる方々と、近畿大学工学部・大学院システム工学研究科・次世代基盤技術研究所とさらに連携が強化されることを期待しております。

令和 5 年 12 月